

インターナル(社内)コミュニケーション

東レ理念への共感・浸透や、自由闊達で開拓者精神あふれる職場風土づくり、従業員のエンゲージメント向上に、インターナルコミュニケーションの視点で取り組んでいます。長い歴史を持つ社内報やイントラネットでの情報発信・共有に加え、2023年からは「はじめの一歩賞」「社員フォーラム」「リアルトーク」などの新しい施策も開始。2026年の創立100周年に向けて活動の幅を広げています。

“読えよう、一人ひとりの一歩を” 「はじめの一歩賞」

一人ひとりの挑戦を読え、後押しすることで、東レグループ全体で挑戦やイノベーションが加速する風土の実現を目指し、2023年に新設した表彰制度「はじめの一歩賞」。規模の大小や成果の有無、成功失敗を問わない「全ての挑戦」を対象に自薦・他薦両方で募集し、最後は社員投票で表彰対象を決定します。結果ではなく挑戦する姿勢を読える点が最大の特徴です。上位の案件は、「東レグループ社員フォーラム」の場で内容紹介と表彰を行っており、過去2年の累計応募数は324件、社員投票数も約19,000件となりました。

この活動を通して、自職場での活動が活発になっただけでなく、普段は接点のない他職場で働く仲間の挑戦に刺激を受けて自らも新しい一歩を踏み出した事例が生まれるなど、挑戦する風土の好循環が始まっています。2025年度は第3回を実施します。



“東レらしい、いい仕事を考えよう” 「東レグループ社員フォーラム」

2023年12月に初開催した「東レ社員フォーラム」は、2024年11月に「東レグループ社員フォーラム」として第2回を開催しました。このイベントは「東レ理念」を基本とした考え方や行動のベストプラクティスを全社員で共有し、東レのDNAを体感することで、会社としての一体感を醸成することを目的としています。2024年のテーマは「東レらしい、いい仕事を考えよう」。第一部では、挑戦する風土の先にある、新たな市場やビジネスの開拓事例として中国のエアフィルター事業とインドの水処理事業のストーリーを紹介し、第二部では、「はじめの一歩賞」の社員投票上位事例を表彰しました。第2回はリアルタイム配信の対象を東レグループの関係会社に拡大、3,200名を超える社員が2時間のライブ配信を視聴しました。第1回、2回共に参加者の満足度は90%を超え、東レらしさや企業風土について考える象徴的なイベントになっています。2025年11月に第3回を開催します。



リアルを伝える生配信番組 「リアルトーク～みんなの声～」

「自由闊達」「開拓者精神」が更に発揮されるような風土醸成を目的に、経営層と社員の双方向のオープンでフラットなコミュニケーションの場として2023年1月に始まった社内向け生配信番組「リアルトーク」は、その本数が12本になりました。(2025年8月現在)

日覺社長(当時)に社員の声を届ける第1回に始まり、大矢社長の事業(工)場ラウンドに合わせた各現場からの配信、副社長3名による座談会、13人の事業(工)場長によるひな壇トークなど、楽しく視聴できる様々な企画で経営層と社員とのコミュニケーションを活性化しています。2025年6月に配信した第12回では大矢社長が司会を務め、「魔改造のウラガワ」と題してNHK番組『魔改造の夜』に出演したエンジニアリング開発センターのメンバーに番組では描かれなかった挑戦の裏話を聞く企画を実施。視聴した社員からは「他の事業所で頑張っている人たちの姿に心を打たれた」「技術者の情熱を感じた」「和気あいあいとしたチームワークの良さが見えてよかった」など、多くのコメントが寄せられました。



1月30日(木)にライブ配信された「リアルトーク～みんなの声～」第11回



6月5日(木)にライブ配信された「リアルトーク～みんなの声～」第12回

インターナルコミュニケーションから派生、東レの「人」を伝える東レ公式noteを連載中

メディアプラットフォーム「note」にて、東レ公式note*を運用しています。東レで働く一人ひとりにはそれぞれのリアルなストーリーがあり、その一つひとつのストーリーが折り重なって、「東レ」という形を作っています。東レの社員が現場で何を考え、悩み、喜び、楽しみ、そしてどんな思いを持っているのか。通常であれば社内にとどまるエピソードですが、オープンなプラットフォームで飾ることなく発信することで、社内だけでなく社外の方々にも広く知っていただきたいと考えています。

「今日も工場は」では、三島工場や瀬田工場、「わたしの仕事観」では、テキスタイル・機能資材開発センターの技術者、「未来への糸口」では、鎌倉の基礎研究センター、「こんなところに東レです+」では吉田カバンとの取り組みなどを紹介しています。



「未来への糸口」基礎研究センター(鎌倉)編
技術の種を育て、未来の強みを創出する。若手研究者の思いとは



「こんなところに東レです+」
たどり着いたのは、100%植物由来ナイロン。吉田カバンと東レが挑んだ「ALL NEW TANKER」



*「東レ公式note」の記事は、こちらからご覧ください